

「秋田県大仙市立協和小との交流学習」FMたるみず放送の模様（Nottaアプリ使用）

今回のスイススクールスケッチ輝く瞳は11月2日今日は小学校で行われましたリモートで結ぶ交流学習の模様をお届けいたします。秋田県の大仙市立協和小学校の五、六年生と垂水市立協和小学校の五、六年生との交流学習です。垂水市教育委員会坂元教育長の話、それから子供たちのインタビュー、それから交流学習の模様と富田校長先生のお話を聞きいただきます。

坂元教育長インタビュー

垂水はすごくGIGAスクールを進めており、いろんな取組をやっています。地方にあっても中央の子に負けないような学びをとにかくさせたいという思いからのスタートで取り組んだ事業もあります。子供たちにとっては授業が楽しくなり、教師にとっては、授業をより良くする一つのツールなのかなと思っています。それがGIGAスクール構想を国が進めている事業なのかなと思っています。

子供の方はずつとずっと上達が早いです。まさにスマホあるいはネットで育った子供たちです。タブレット等の操作は先生方よりもむしろ子供たちの方が一歩も二歩も前に進んでますね。子供たちのそういうアイディアを生かしながら先生と子供と一緒に作り上げていくような授業がこれから求められる授業かなと思っています。

近い未来として最終的には、子供自身が自分で学びを作っていく、つまり学びの自立というところを求めています。今学習したことが学習ログという記録として残っていくんです。例えば国語の方の学びでいうとどの位置にいて、そして先はどうなっていくんだという見通しも持てるし振り返ったときに自分はここまで成長したんだということもまた実感できるということです。こういう学習のスタイルに変わっていくと思います。子供たちが生徒であり先生であるという形、自分自身をまさにメタ認知しながら、そしてどこへ向かっていくべきかをしっかりと見定めながら学びを進めていくというイメージです。

児童インタビュー

問 今日はリモートということですけど、何回かやったことあるんですか。

児童 こういうの垂水市内の交流はあるけど、県外との交流は、やったことがありません。同じ名前で他にも共通しているところがあるのかなって気になります。短い時間で資料を作ったので少し心配ですが頑張ります。

問 お魚の数が出てますけど、今日はそのリモートで何か使うんですか。

児童 有名なカンパチについて紹介をします。

問 秋田の子どもたちから何か聞きたいことってありますか。

児童 秋田県には私が今調べてるカンパチと同じように有名な食べ物があるか聞いてみたいですね。

問 今日は秋田の子どもたちと交流っていうことですけど、何か楽しみにしてるようなことがありますか。

児童 持久走大会について発表します。

問 秋田の子からは運動のこととか何か聞くことがありますか。

児童 何キロぐらい走るのかを聞きたいです。

川踊りについて発表します。信長のダンスも紹介します。

問 秋田の子どもたちに何か聞きたいことがありますか。

児童 創立何年なのか、小学校の全校生徒は何人かが聞きたいです。

垂水市立協和小の発表

カンパチは生産量が日本一です。餌にお茶を与えています。お茶を与えることで魚臭さがなくなり、美容や健康にもおすすめです。

カンパチ料理を紹介します。好きな野菜にドレッシングをかけます。ドレッシングはサラダやカルパッচョによくあうものを選んでください。 · · · ·

垂水市立協和小学校　富田校長先生

今日の交流の発表を聞いていて、皆さんは元気があつていい子たちだなと思いました。秋田県には行ったことは残念ながらないんですが、青森県には行ったことがあります。今度またせひ機会があったら行ってみたいなと思っているところです。ただ、鹿児島県と秋田県は高校野球とかで対戦したことが何回かあって、それでちょっと知っているというところです。皆さんにね、校長先生から質問ですが、秋田県と鹿児島県はどれくらい離れているか知っている人がいますか。さっき調べました。そしたらですねです。1750kmぐらい離れているようです。とても遠いですよね。そんな遠いところに同じ名前の、しかも漢字も同じ協和小学校があることを知って正直驚きましたが、でも嬉しかったです。こちらの学校の方が小さい規模ですので、兄弟校になるとしたら、弟校になるのかなと思います。今日はタブレットを通じて身近に感じることができてとてもよかったです。鹿児島と秋田では文化や習慣もとても違うと思います。ですから、今後も交流を続けて秋田のいいところ鹿児島のいいところをいっぱい見つけてみてはいいのかなと思っているところです。秋田の冬はとっても寒いと聞いていますので、風邪などに注意して一生懸命頑張ってほしいと思います。それではまたお会いできることを楽しみにしています。今日はありがとうございました。

秋田県協和小の発表

農業が盛んな地域で、「サキホコレ」という新しいお米のブランドを作っている農家さんもいるんです。15年ほど前に6つの小学校が統合してできた学校です。児童数は157人1から5年生は1学級ずつ、6年生は2学級あります。さて、今日僕たちの学校について知つてもうるために参加クイズを用意しました。ぜひ手を挙げて参加してください。・・・・

大仙市立協和小学校の高島教頭先生

今回はこの交流を呼び掛けていただき、ありがとうございます。
とても嬉しかったです。また刺激になりました。今日、皆さんの様子を見ていて本校の子供たちが出したクイズにすごくよく当たりました。とてもよく調べてくれたんだなあと思いました。またこういうふうに遠く離れたところなのに、リアルタイムで繋がるっていうのはすごくいいですね。一瞬にして友達になったような気持ちになります。さあ、本校の協和小学校の5年生6年生の様子はいかがだったでしょうか？画面ではとても仲良く元気な雰囲気が伝わったと思うのですが、毎日朝から晩まで、そんな子供たちです。さあそれでは少しですが皆さんに、協和小学校の様子がどうなってるかお見せしたいと思います。紅葉です、見えますか。山が見えますよ。これ何かっていうと、築山です。私達秋田県人は、小学校の体育では冬に必ずスキーをやりますので、小学校のグラウンドにはスキーを練習するための山があります。これは秋田県の小学校の常識です。少しは感じていただけたでしょうか？二つの「しょく」という最後にお話をします。

二つの「しょく」、何かというと、一つは食事の「食」です。やはり地域が変わると食べるもののが全然違いますね。そしてもう一つの「しょく」は植物の「植」です。やはり南国と北国ですので、植物が全然違います。というそういうところにも注目して、今後も交流していくだければありがたいと思います。今日はとても楽しかったです。誘ってくれてありがとうございました。

垂水市立協和小5・6年担任　竹下先生

子供たちがなかなか発表するときに外部の方たちに発表する機会もなかつたりするので、どこか誰かに発表をさせたいと考えたときに子供たちの今後に繋がるのかなってのもあって探したのもあります。すごく楽しい授業でした。見てても聞いてても楽しかったです。こちらもわからないことがたくさんあり、なまはげの質問とかに関しても初めて知ることができたので、また今後総合的な学習の勉強を重ねていって、次回の発表会でまたいろいろな交流をしてみたいと思います。